

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2023年10月6日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

物価高騰！生活大変！ 札幌会場の相談件数50件

9月30日 全国いっせい いのちと暮らしを守るなんでも相談会



物価高騰などで道内でも生活困窮・営業困難が広がっています。もともと、長引く不況のもとで、労働条件の悪化と雇用破壊がすすみ、失業や就職難が深刻化しています。社会保障制度の改悪も続き、低賃金、低年金者、生活保護利用者の増大など、貧困と格差が拡大しています。

9月30日、全国一斉に「いのちと暮らしを守るなんでも相談会」が行われました。札幌では、雇用・くらし・SOSネットワーク北海道と反貧困ネット北海道が、関係団体や個人に呼びかけて電話相談会を行い、50件の相談が寄せられました。当日は、弁護士、司法書士をはじめ生活、医療・介護、子育て・教育、労働、債務などの専門家が無料で相談に応じました。

- 【相談者の住所】札幌市15人、函館市3人、旭川市1人、北見市1人、中標津町1人、女満別町1人、清水町1人、羽幌町1人、青森県6人、秋田県1人、岩手県4人、宮城県3人、埼玉県1人
【相談者の年齢】30代1人、40代4人、50代5人、60代12人、70代以上18人
【相談者の性別】女性27人、男性23人
【主な相談内容】生活費問題27件、住宅問題4件、債務問題2件、労働問題4件、その他13件

生活費の相談では、年金生活者や生活保護利用者などから物価高騰で「生活が大変」「冬の生活が心配」などの相談が多く寄せられました。また、少ない年金で預貯金を取り崩して生活してきた人や失業中の人、医療費が生活を圧迫している人から、生活保護を申請したいという相談もたくさん寄せられました。国に対して「消費税を下げてほしい」という要望も出されました。

「物価高騰のため生活苦しい(62才)」「年金が2ヵ月で9万円と企業年金6ヵ月1回6万円の収入。物価が上がり預金を取り崩してきたができない(70代)」「国民年金月7万円、冬の燃料費が厳しい(83才)」「収入は生活保護と年金。暮らしが苦しく、毎月の支払が遅れている(65才)」「失業中(約10年うつ病)、生活保護申請したい」「一人暮らし、年金月7万円。持ち家。生活保護の要件知りたい(72才)」「一人暮らし、遺族年金1ヵ月10万円。家賃3万5千円。通院中。生活保護利用希望(81才)」

次回の「なんでも相談会」は12月23日(土)10時から18時までです

10月13日 チカホで雇用とくらしのSOS街頭相談会

- 【日時】10月13日(金)11時から16時まで
【場所】チカホ 北3条交差点広場
【ミニ講演】
12:15~12:35「働きやすい職場作りを」
木村俊二 札幌地区労連議長
13:00~13:20「生活保護は権利です。活用しましょう！」
石橋妙美 道生連事務局長

